

# 2018年6月1日 第3246回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 小林 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> \*横浜マリノス (株) 渉外担当専任部長 中村 勝則 様

\*木村金属工業 (株) 代表取締役 木村 一郎 様

<ビジター紹介> \*ガバナーノミニー・デジグネート 久保田 英男 様 (鎌倉RC)

\*第1グループガバナー補佐 宮本 清志 様 (横須賀南西RC)

\*かながわ2780REC 会長 原 いづみ 様

\* " 副会長 田代 晴香 様

<誕生日祝> \*勝間 佳枝 (S. 8.6. 1) \*植田 威 (S. 34.6. 1)

\*山田 晴史 (S. 36.6. 1) \*上原 英雄 (S. 11.6. 3)

\*織茂 明彦 (S. 28.6. 8) \*今野 成敏 (S. 20.6. 15)

\*加藤 淳 (S. 37.6. 18) \*齋藤 眞且 (S. 28.6. 19)

\*松村 和雄 (S. 26.6. 19) \*太田 陽三 (S. 7.6. 20) 各会員

<入会月祝> ・江沢 暁彦 ・五十嵐 俊男 ・井 貫 ・勝見 慎一

・山下 和男 ・鈴木 孝博 ・八木 達也 ・浜田 哲二

・久保田 英朗 ・渡邊 磨 ・前川 静子 ・松村 和雄

・鹿島 勇 ・原田 早苗 各会員

<会長報告> \*R財団寄付 表彰について 石田会員の表彰 (後日例会で表彰実施)

\*ガバナー事務所より

・次年度第1回インター・ローター委員会/

第1回地区IACアクターズミーティング開催のご案内について

6月9日 (土) 13:00~13:40 委員会

14:00~17:00 アクターズミーティング

於: アイクロス湘南

・米山学友主催「クリーンキャンペーン」のお知らせについて

7月8日 (日) 11:00 小田急線「片瀬江ノ島駅」集合

11:30~12:30 片瀬海岸東浜海岸清掃

13:00~16:00 海の家「BOND」にてバーベキューと懇親

16:00 現地解散

<委員長報告> \*雑誌委員会 薦野副委員長よりロータリーの友6月号

\*出席委員会 植田委員長より 5月分出席報告 5月分平均出席率 72.89%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
5月11日	115名	101名	71名	30名	5名	75.25%
18日	118名	102名	70名	32名	3名	70.87%
25日	119名	102名	74名	28名	1名	73.53%

\*小平会員より地区新会員の集い 報告

・ロータリー会員は入会してからその素晴らしさに気付くことが多いとのこと。

<幹事報告> \*例会終了後第6回被選理事役員会 開催 (例会場)

<出席報告> \*出席委員会 植田委員長より6月1日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	104名	74名	30名	3名	74.04%

<ニコニコ報告>

- ・ガバナーノミニー・デジグネート 久保田英男様（鎌倉RC）  
初めて訪問させて頂きました。よろしくお願いいたします。
- ・第1グループガバナー補佐 宮本清志様（横須賀南西RC） 1年間お世話になりました。
- ・原いづみ様（かながわ2780REC会長）  
本日はグループ移籍前のご挨拶に伺わせていただきました。よろしくお願いいたします。
- ・田代晴香様（かながわ2780REC 副会長）本日はよろしくお願いいたします。
- ・三 役 ガバナーノミニー・デジグネート久保田英男様、第1グループガバナー補佐宮本清志様、  
かながわ2780REC会長 原いづみ様、副会長 田代晴香様ようこそお越しくさ  
いました。
- ・山 ・、吉田 齋、飯 塚、徳 永、外 崎、佐久間、齋藤 眞、  
山 下、高橋 齋、岡、新倉 齋、波 島、福 西 各会員  
鎌倉RCガバナーノミニー・デジグネート久保田英男様、横須賀南西RC第1グループ  
ガバナー補佐宮本清志様、ようこそお越しくさいました。
- ・澤 田、佐久間、高橋 齋、齋藤 眞 各会員 かながわ2780REC会長 原いづみ様、副会長  
田代晴香様、ようこそお越しくさいました。
- ・勝 間、植 田、山田 齋、織 茂、加藤 齋、齋藤 眞、松 村 各会員 誕生月祝いとして
- ・江 沢、五十嵐、勝 見、山 下、鈴木 齋、八 木、  
渡 邊、前 川、松 村、鹿 島、原 田 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 濱田恵里会員、本日の新会員卓話よろしくお願いいたします。
- ・吉田 齋、小 平、山 ・、波 島、植 田、北 村、瀬 戸、岩 瀬、  
杵 渕、原 田、田 邊、澤 田、高橋 齋、猿 丸、大 竹、Enora、丸 山、  
谷、小 山、飯 塚、薦 野、角 井、江 沢、根 岸、若麻績、長 坂、  
勝 間、佐久間、齋藤 眞、高橋 齋、兼 城、曾 我、前 川、宮 島、鈴木 齋、  
齋藤 眞、鈴木 齋、前 田、杉 山、渡 邊、福 西、鹿 島 各会員  
濱田恵里会員、本日の新会員卓話楽しみにしております。
- ・濱 田 会員 本日新会員卓話宜しくお願ひ致します。ちょっと気持ちが悪いです。
- ・7番テーブル澤田マスター、平田サブマスター 5月29日、7番テーブルミーティングを岡田副会長、  
勝見幹事、小林SAA、八木副SAA、三宅さんに御出席頂きメルキュールホテルに於  
いて開催いたしました。猿丸会員の御配慮に御礼申し上げます。
- ・渡辺 齋、長 澤、中 山、齋藤 眞、山 下、宮 島、中村 齋、八 木、小林(-) 各会員  
先日行われた7番テーブルミーティングでは多数のご参加を頂き大変楽しい会となりま  
した。澤田TM、平田SMありがとうございます。澤田会員、猿丸会員、シャンパン  
の差入れありがとうございます。
- ・新倉 齋 会員 7番テーブルミーティング参加出来ず申し訳ございません。
- ・8番テーブル福西マスター、物井サブマスター 8番テーブルミーティングには小林会長、岡田副会長、  
テーブルの皆さまお忙しい中ご出席有難うございました。人数は少なめでしたが、しっ  
かり親睦が深められたと思います。会員増強の話題になり、期待致しておりました“会  
長の坊主頭”は見られそうもありませんですヨ。
- ・菅 野、若麻績、薦 野、物 井 各会員 8番テーブルミーティングを5月25日ダイニング大島で  
開催しました。小林会長、岡田副会長出席ありがとうございます。楽しいミーティン  
グでした。
- ・丸 山 会員 宮島先生に娘がお世話になってます。
- ・Enora 会員 勝間さん、6月誕生日の皆さま ハッピー～ブァースデ～。
- ・高橋 齋、小林(-) 両会員 サッカー日本代表23名決定しました。グリープリーグ突破目指してコロン  
ビアを撃破せよ！
- ・澤 田、岡 田、兼 城、勝 見、宮 島、山 下、  
齋藤 眞、八 木、小林(-) 各会員 写真をいただいて

新会員卓話という事でお時間を頂きましたので、自己紹介をしたいと思います。こういう事に慣れていないので申し訳ありませんが、原稿を読ませて頂きます。

私の父は富士電機のエンジニアで若い頃は実業団バレーのセッターをしていたそうです。その後会社は変わりましたがずっとエンジニアでした。母は小学校の教師でした。私は川崎で生まれ6歳までおりました。それから17歳まで横浜で過ごしましたが父の転勤で横須賀の天津に移りました。

高校は神奈川県立横浜平沼高校という高校を卒業しました。卒業生で有名な方は草笛光子さんと岸恵子さんです。最近では羽鳥慎一という

アナウンサーがテレビに出ています。平沼高校は、1900年明治33年に神奈川県高等女学校として創立され1948年の6.3制により男女共学の高校になりましたが、私が通っていた頃は全校生徒の3分の2が女子、3分の1が男子で、9クラスの内3クラスが女子クラス、後の6クラスが男女クラスでした。私は1年と3年の2年間女子クラスでしたので、ほぼ女子校に通っているような感じでした。

大学は、早稲田大学社会科学部を卒業しました。ご存じのように当時は圧倒的に男子学生の多い大学でしたので、私にとっては大変楽しい幸せな4年間でした。

卒業後は、日揮株式会社というプラントの会社に入社し2年後に結婚するまでコンピュータセンターの所長付きの仕事をしました。就職活動は、楽しい学生生活を謳歌した結果、当然単位もギリギリで成績も良くない一浪の女子学生には大変厳しい物でした。当時の人気ランキング上位の商社や損保等は履歴書すら受け取ってもらえませんでした。そんな私が日揮に入れたのは大学の就職課でも驚かれ、入社してからは直属の上司に不思議がられました。私はよく運が良いと言われて育ったのですが、その時も運が良かったとしか思えません。日揮はプラントの会社でしたので若者はほとんど海外に行ってしまう「広いフロアーにあるのはおじさんと机だけ」等と同期の女子で陰口を言い合うような状態でした。

2013年のアルジェリアの事件は衝撃でしたがその時の社長は同期で、やはり彼も入社早々インドネシアに赴任していました。私が働いていた時はクエートが主流でしたが、上司の出張期間にクエートの空港が爆破され大変心配した事があります。その時は、帰りの飛行機が離陸した直後の爆破だったので上司は無事でしたが、携帯電話などなかったので帰国が確認できるまで時間がかかり本当に心配しました。

日揮での海外赴任のお給料は大変良いのですが、プラントの仕事をするような国は治安や生活が安定していなかったため、病院も近くにない盲腸になって亡くなった方もいるような国が多かったのです。所長達上層部が赴任のスケジュールを決めるのですが、1cmが一年で独身の方などは平気で2.3cm伸びてしまいます。その反面お子様が学齢期に達したり親御さんが体調を崩した等の情報があるとすぐ帰国手続きをするような会社でした。その為私はそのような情報をできる限り自然に入手出来るように普段の飲み会に積極的に参加していました。私の仕事は主に所長のスケジュール管理と電話対応とお茶くみでした。コンピュータセンターは新しい部署でしたので他の本部長の方々が情報交換と称してよくお茶飲みにみえました。そんな時本部長のお茶の好みを予め知っておけば、いらした時に伺わなくても好みの飲み物を出せると思い、各秘書課に本部長の好みを聞いてリストを作りそれをまた秘書課に送ったので、本部長と秘書課の方々に大変喜ばれ私が辞めた後もそのリストは更新して利用して頂けたそうです。

そんな日揮で一番印象に残っているのは、コンピュータセンターを子会社化する仕事に携わった事です。携わると言っても私に出来たのは会議内容のワープロでの清書（まだパソコンは普及されていませんでした）とお茶出しですが、子会社が設立される過程を目の当たりに出来たのは、日揮4000人の中でもごく僅かな人達でしたので大変貴重な経験をさせて頂いたと思っています。



私は、両親と兄との4人家族で、末っ子でしたので我儘でやんちゃな娘でした。父は私が二十歳の時に亡くなりましたが、母は健在で現在一緒に住んでいます。兄は2年前まで横須賀市役所に勤務しており今は横須賀市産業振興財団にいます。私が生まれて始めてアルバイトをしたのは平坂書房です。そこでは沢山の事を学びました。接客や人との関わり方などは、現在お店でお客様やスタッフとの関係を築くのに大変役だっており感謝しております。ただ当時もやんちゃで、小林会長に「今後仕事中は絶対におしゃべりはいたしません」という念書を書かされ暫くレジの横に貼られていたのを今でも覚えています。学生時代にはその平坂書房でのアルバイトが後の人生を変える事になるとは思ってもみませんでした。詳しい事は省略させていただきますが、主人は平坂書房のお客さんで、当時の店長さんを通して履歴書と写真を渡され大学4年の終わりにお見合いをして2年後に結婚をしました。現在私がこうしているのも平坂書房でアルバイトをさせて頂いたお陰と感謝していますが、たまに感謝以外の感情が生まれる時もあります。

主人は、慶應義塾の卒業ですのでOBOG会である横須賀三田会にお世話になっております。私も早稲田のOBOG会の横須賀稲門会に入れて頂きました。横須賀の学校に通った事無い私は横須賀に友達が少なく、三田会の方達や稲門会の方達は私にとってとても心強い頼りになる方達です。何年か前に癌の疑いがあった時は、三田会の先輩達に助けて頂きました。その時の丸山先輩の「おまえの所は医学部が無いからな。よし任せておけ！」という言葉は今でも本当に有り難い言葉として残っております。また、稲門会の先輩や後輩からもいろいろと助けて頂いております。更に女性の知り合いが少ないのを残念に思っていた時に、商工会議所女性会に誘って頂き入会しました。この女性会でも沢山の事を学ばせて頂きました。私はサラリーマンの娘でしたので、商売という物が分かりませんでした。女性会の先輩方に実践や経験談でいろいろ教えて頂きました。そして個人的にも食事や旅行が出来るような関係を築く事が出来たのは本当に有り難いと思っております。

結婚した時主人は31歳でしたが、既に義父は引退してしまっていたので社長でした。結婚前には「お店に出る必要はない、サラリーマンと結婚するつもりでいて良いから」と言われてましたので、まさか今の様な状況になるとは思いませんでした。今の状況に不満があるわけではなく有り難いとは思っていますが、ふと「あら？騙されたかな？」と思ってしまう瞬間があるのは否めません。

浜田分店は1914年大正3年に主人の祖父母が創業致しました。浜田本店の娘である祖母夫婦が本店から暖簾分けをして頂いたお店です。昭和54年に有限会社になりましたが今年で創業105周年です。今の浜田分店があるのは主人の父が先見の明で、いち早く焼き立てパンを出すように工夫したからだと思っています。義父は、石川島播磨で設計の仕事をしていたそうですが、義母と結婚するため浦賀ドックに移ったそうです。それから暫くして浜田分店を継いだのですが、義父はとても面白い発想の持ち主で、ある時パン組合でメロンパンにメロンが入っていないのでメロンパンと言っただけだと保健所の方に言われた時「では瓦せんべいに瓦が入っているのか？」と反論したのは有名な話だそうです。そんな父にとって私は異星人のような存在だったみたいで、人間的な事が出来ると褒められ日本人的な事が出来ると褒められ嫁として普通の事が出来ると褒めてもらえるという、私にとってはとても有り難い義父でした。義母も義姉も家事全般不得意だったというよりはしたことのなかった私にお料理や子育てを1から教えてくれました。その中で覚えた梅干しとお味噌作りはちょっと自慢出来ると思っております。

義父はお店を継いだ時、昔からいた職人さんを社員にし、社会保険と厚生年金に加入し、パートさん達の退職金積立を始めました。また、男性の多かった職場で女性が働きやすいようにと、台車や滑車などを駆使して男女に差がない仕事場にするよう工夫をしたそうです。男女雇用機会均等法などという言葉もない頃から義父は自然な平等を心がけていたのではないかと思います。兎に角働く環境が良ければスタッフもお客様も喜び、それが結果的には自分たちに返ってくるとよく言っておりました。ですから会社を辞めた後でも沢山のスタッフに感謝されてきました。父の焼き立てパンの発想を受け継いで、焼き立て揚げたて作りたてのパンを売るよう努力したのが主人で、その為にスタッフは他のパン屋さんより多く人の手配は大変ですが、お客様には喜んで頂いております。

何故「浜田分店」なのかとよく聞かれます。何度か店名を変えようとの話は出ましたが、主人も私もそういうセンスが全く無く良い名前が思いつきませんでした。そんな時、パンや専門のコンサルティング会社に入社していた娘が、「分店」という名は、暖簾分けのシステムが無くなっている今とても貴重な名前だと言い出しまして、なるほどと思いつのまま胸を張って「分店」を名乗っています。

我が家には二人の娘がおりますが、コンサルティング会社に行っていた下の娘が現在浜田分店を継ぐべくお店で働いております。親子で働きますとお互いに期待と甘えがあつてぶつかることもあります。親子ですのでいつの間にか普通の状態に戻っています。子育て真っ最中の娘がどのようになるかは分かりませんが、この時代に後継者がいるということは大変有り難い事だと思っています。

浦賀駅前、私が嫁いだ当時アーケードがある駅前商店街で浜田分店もその一つでした。ところがだんだんシャッター通りになり気付いたら郊外店になっていました。浦賀ドックの閉鎖が大きな要因ではありますが、浦賀は歴史的にとても重要な場所なのにそれが活かせてなくて大変残念です。

何とか浦賀に商売の灯りを灯したいと、4年前に「めぐみの里」という創作料理のお店を開きました。最初は浜田分店の閉店後にそのまま店舗をレストラン風にして始めましたので、前を通る方達はしばらくの間パン屋さんがミーティングをしていると思っていたそうです。それでも有り難い事にだんだんお客様が増え1年たった頃、近くの焼き鳥屋さんが定年で閉店するというので貸して頂き今に至っております。約2年前に調理スタッフが入ってくれたのですが、なかなか楽しいお料理を作りますので最近では結構遠方の方もご来店下さいます。そちらのお店は彼に任せることが出来たので、もう一店舗浦賀に飲食店を作りたいと思っています。浦賀はどんなお店もうまくいかないと言われていたそうですが、そんな事はないと信じて地道に灯りを灯して行って、あんな素人でもお店を続けられるならと思つて、浦賀に出店してくれる方が増えたら良いなと思っています。

運と要領で生きてきた私ですが、還暦を迎えるにあたって初心に戻りいろいろ勉強もして、少しでも人様のお役に立てる人間になるよう努力していこうと思つておりますのでこれからも宜しくお願いいたします。

<卓話の終わりに>

岡会員と齋藤眞且会員から浦賀地区振興の決意と叶神社の遷座祭のご案内を頂きました。

<閉会・点鐘> 13:30 小林会長

週報担当 平田文彦